

評価問題例

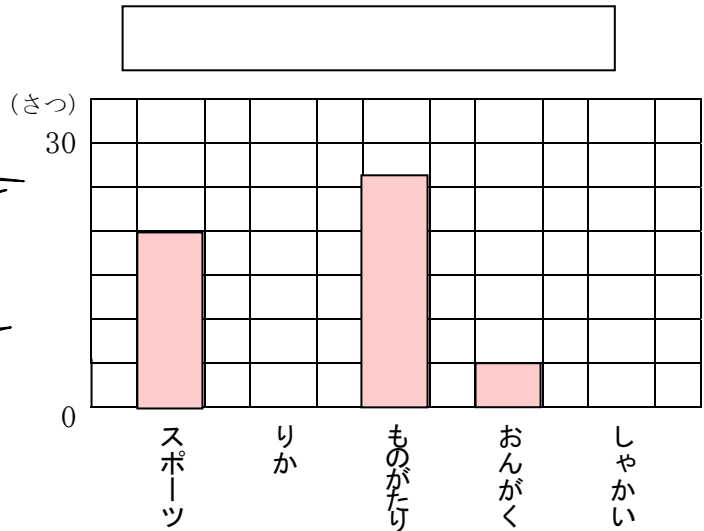
たかしさんたち図書がかりでは、学級文庫からかした本のしゅるいをしらべ、グラフにして発表しようと、話し合っています。

ものがたりはスポーツの本より7さつ多いわ。

しゃかいの本は、おんがくの本の3ばいもあるよ。

スポーツの本と、りかの本をたすと33さつになるよ。

家に、もういない古いものがたりの本が3さつあるので、もって来ようかしら。



1 このグラフの1めもりは何さつですか。(さつ)

2 話し合いをよんで、りかとしゃかいのぼうグラフをかきこみ にグラフの題名をかきましょう。

3 どのしゅるいの本をいちばんかしてしていますか。()

4 たかしさんは、どくしょしゅうかんで発表するためこのグラフを右の表にします。表を完成しましょう。

| 本のしゅるい | さつ数(さつ) |
|--------|---------|
| スポーツ | |
| りか | |
| ものがたり | |
| おんがく | |
| しゃかい | |

評価問題のポイント

- ☆ グラフや話し合いの内容から必要な情報を整理し、筋道立てて考え、正しく計算する力を育てる問題である。
 - ・最小目盛りに着目させる。目的に応じて最小目盛りが2、5などのグラフも読み、かけるようにする。
 - ・グラフについて単に機械的に処理するだけでなく、児童自身が何のためにグラフに表すのか、グラフによって何が分かるのかなど、課題を明確にとらえて、資料を収集し、整理させることが必要である。
 - ・算数科での学習内容を係活動などの日常生活と関連付けて、表やグラフに表すことのよさを日頃から実感させることが重要である。
 - ・グラフをかくに当たっては個人差が著しいと考えられるので、児童の実態をとらえて個別指導をすることが必要である。